

# ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。  
～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで14年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

## 1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

## 2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

## 3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ┃ATACの経営便利帳
- ┃現場の課題解決はこうする  
(中堅・中小企業の業務改善事例)
- ┃中堅・中小企業へのATAC提言集
  - ①新商品開発のヒント
  - ②ISO9000認証取得の手引き
  - ③ISO14001認証取得の手引き
  - ④中小企業のためのIT
  - ⑤材料選択の手引き
  - ⑥設計を考える

## 4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

## 5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、FAX (06-6443-5319) でお申し込みください。

### 公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

## 書評

### 「ウィニング 勝利の経営」

ジャック・ウェルチ+スージー・ウェルチ著 齊藤聖美訳

05年9月 日本経済新聞社刊 ¥2,100

訳者のあとがきが、この本の特徴を非常に良く表わしているので、これを織り交ぜて説明申し上げます。

ジャック ウェルチ (GE元会長兼CEO) は押しも押されぬ世紀の名経営者なので、格調高く、無味乾燥な本かと思勝ちであるが、実のところ、この本はビジネスで成功するための具体的なノウハウを綴った、徹底したハウツー本なのである。たとえば、いけ好かない上司の下に配属されてしまったらどう行動すべきか、出世するには何をすべきで何をしてはいけないという説明の本なのである。

また、「成功したいと思うのなら、戦略についてじっくり考えるより、その分、体を動かせ」とゲキを飛ばし、みずから実践してきた効果的な戦略立案のノウハウを惜しげもなく語ってくれる。経験則から編み出された「ウェルチ流・勝利の法則」は、あくまで現実的・実践的であり、企業のトップのみならず、中間管理職、キャリアアップを目指す人、さらにはこれから社会に出ようとする学生にも役立つノウハウが満載されている。さまざまな角度からウェルチは経営のノウハウを語るが、「つまるところ、経営とは人だ」との強い信念が何度も繰り返される。その底に流れるのは、人に対する愛情である。

50代に手が届こうかというときになって、能力がないとか適性がないという理由で解雇されるほど残酷なものはない。それより、公平で適切な評価を下して、手遅れになる前に転職やキャリア変更ができるようにしてあげるのが親切というものだろうという彼の言葉には、まったくそうだ、とうなずいてしまう。自分のことは自分が一番知っているようでいて、実は良くわからない。自分の適性はどこにあるのだろう。自分はなにが出来るのだろう。いずれにしても、客観的に自分を評価することは先ず不可能だ。親切な上司が率直に、この会社はあなたに向いていないよと早めに警告を出してくれたり、あるいは、もう少し頑張ればトップクラスの仲間入りができるよと激励してくれたら、どんなに嬉しいだろう。社員をトップレベル、ミドルそしてボトムレベルに峻別して、それぞれに適した対応をする「選別」のシステムは、実は人に優しいやり方なんだと思う。

本書のカバー範囲は広範囲にわたっており、経営の基本原則、リーダーシップと組織変革・危機管理を含む人にまつわる問題、競争に勝つ戦略、転職・昇進・上司との関係・仕事と家庭のバランスを含むキャリアの問題が扱われている。焦点は、人の問題に大きく傾斜していることである。人事重視、しかも経営トップだけでなくミドル重視の姿勢が示されているし、働く一人一人への配慮や助言という面が濃厚である。

人の問題を重視される方には、本書はわが意を得たりと思われるであろう。そして、本書に記される懇切丁寧な実践方法は大いに役立つことは間違いない。

(山本 巖記)

